


一般質問通告書

【第70回定例会】

多可町議会議長 河崎 一 様
 多可町議会議員 橋尾哲夫 

受 領 日	番号
平成28年6月 2日 午前・ <u>午後</u> 2時32分	7

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. エーデルささゆり入口交差点に信号機の設置について	町長
<p>地方創生の一貫として、エーデルささゆりは健康ツーリズムとしての保養所として活用します。今後他所から多数の大型バス等の乗り入れが考えられます。重大事故の発生が予測されます。重大事故が発生してからの信号機設置では多可町の信頼が大きく損ないます。</p> <p>エーデルささゆりの入り口に長崎屋喫茶店があり、帰りのバスの事故が想定されます。</p>	
2. なごみの里山都の利用策について	町長
<p>平成28年度から老人クラブでの「生きがい活動」が年2回に変更されました。従来は年3回を春蘭荘での使用が社会福祉協議会から年度初めに各区老人会の役員会で公開され、各単老の利用日程が決定された用紙が配布されます。本年度は2回となり、1回を各単老で自主的に行います。その1回分を大和にある「なごみの里山都」を活用すれば地方創生の一貫にもつながり、また、八千代西小学校廃校後の地元の活性にもつながります。町としても積極的に使用を各単老にピーアールすること。</p>	
林泉荘の営業廃止の延期について	町長
<p>平成28年6月末をもって50年の営業を廃止するとのことを聞きましたが本年度は敬老の日発祥記念として9月19日に50周年式典に際し、県知事を招いて開催します。林泉荘も敬老の日発祥記念として建設された施設であります。八千代区住民にとっては精神的に思い出のある施設です。本年は50周年の年であり、新たに事業される者を要請すること。その施設も相当老朽化しており修理改修が必要です。敬老の日の記念施設は林泉荘のみであり多可町住民の感情を十分勘案し敬老の日発祥兼門脇政夫記念館として活用してはどうか。</p>	

質 問 の 内 容

1 エーデルささゆりの入口に信号機の設置要請はすでに2年前に中野間集落から町に要望書として提出されています。

私も当時の区長から相談され、橋尾個人議員として信号機設置要請書を提出しています。俵田・仕出原線と八千代プラザ線の道路拡幅によりスピードが出るようになりました。事故件数は十分把握はしていませんが、今後大型バスは増加し重大事故が予測されます。現在も毎週土日曜日は市民グラウンドを少年野球や少年サッカーの練習場として使用されています。私は毎日車で俵田仕出原線を通り西脇の事務所へ通勤しています。毎日事故がないように願って車を運転して通勤しています。町も信号機設置は県公安委員会に申請済であります。再度、信号機設置を要請すること。

2 「なごみの里山都」での「生きがい活動」に活用できるように町は各単老に春蘭荘と同様1回分は「なごみの里山都」の利用要請をすること。

遊具等不足分は施設長等と十分協議し、各単老会員から苦情のないように。

八千代西小学校の跡地に隣接しており、グラウンドゴルフもでき快適な時間を過ごすことができます。

3 林泉荘は昭和61年4月に国の補助金で社会福祉施設として建設されました。当時の厚生労働大臣は鈴木善行氏でした。

目的は敬老発祥地としての記念として建設されました。

高見は本年6月で林泉荘での営業活動を休止し12月には撤退予定であります。林泉荘は八千代区あるいは多可町にとっては町のシンボルである「敬老の日制定発祥記念」建造物であります。

高見が営業休止で撤退するのであれば新規事業者を手当し、八千代住民の寄り合い場所であります。本年の消防操法大会後の八千代区長と議員との懇親会に活用しました。

林泉荘の今後の活用策は敬老の日発祥兼門脇政夫記念館として町は後世に引き継ぎ守っていく義務があり、町の誇りでもあります。